

# 人間国宝・野村万作、

狂言にとどまらず幅広いジャンルで活躍する野村萬斎による

## 大好評シリーズ

解説

石田 幸雄

狂言

### 佐渡狐

奏者 野村 万作  
越後の百姓 月崎 晴夫  
佐渡の百姓 高野 和憲  
後見 石田 淡朗

休憩

狂言

### 悪太郎

悪太郎 野村 萬斎  
伯父 石田 幸雄  
僧 内藤 連豪  
後見 飯田 豪



野村 萬斎 のむら まんさい

1966年生。祖父故六世野村萬斎及び父故八世野村萬斎及び父野村万作に師事。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言さざる乃座」主宰。狂言公演はもとより、現代劇や映画・ドラマに主演するなど幅広く活躍。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞臺芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞、千田是也賞、読売演劇大賞最優秀賞等を受賞。世田谷バーベックシアター芸術監督。

あらすじ

### 佐渡狐

年貢を納めに都へ上る途中で道連れになつた佐渡と越後のお百姓。佐渡に狐のいるいないを巡り賭けをすることになったが、実は佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は、奏者(取次の役人)にワイロを使い味方についてもらう。しかし奏者の「佐渡に狐はある」という判定に納得のいかない越後のお百姓に、狐の形格好を問いただされ…。

越後のお百姓の追及に必死で答える、佐渡のお百姓と奏者の連携プレーが見どころです。世相を風刺しつつ、中世の人々のたくましく生きる姿が笑いの中に描かれた狂言です。

### 悪太郎

乱暴者の悪太郎は、酒を飲むことを非難する伯父を脅してやろうと、長刀を携えて出かけていく。ところが、そこでもさんざん酒を飲み、よい機嫌になると、帰る道すがら寝込んでしまう。後をつけてきた伯父は、道端に寝ている悪太郎を見つけて僧形にし、「今後は南無阿弥陀仏と名づける」と言い渡して去る。さて、目を覚ました悪太郎は…。

行き場の無いエネルギーを放出していた悪太郎ですが、「南無阿弥陀仏」と名づけられるのを境に舞台が一変します。狂言らしい笑いに溢れる前半と共に、悟りに至る後半もまた見どころです。

### ◆プロフィール



野村 萬作 のむら まんさく

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)文化功労者。祖父故初世野村萬斎及び父故六世野村萬斎に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。芸術祭大賞の他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、柴綏褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章等多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言普及に貢献し、ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。2019年6月、米寿記念の新著『狂言を生きる』(朝日出版社)を刊行した。

～ご来場の皆様へ～  
新型コロナ感染拡大  
防止対策のお願い

- マスクを着用してご来場ください。マスクを着用していない方の入場はお断りします。
- 入場時の検温の結果、37.5度以上の発熱がある方、咳、咽頭痛や倦怠感などの風邪症状のある方はご入場をお断りさせていただきます。
- 入場時、手指の消毒をお願いします。また、咳エチケットにご協力ください。
- 隣席を空けた座席配置とさせていただきます。
- ソーシャルディスタンス確保による整列、入場方法の制限にご協力ください。

状況等により、公演を延期または中止となる場合もあり得ます。予めご了承ください。